



バンコク便り



1. はじめに

12月末のタイにおける新型コロナウイルス新規感染者数は1日3,000人前後でしたが、1月後半は約7,000人前後で推移しています。年末年始の長期休暇があることから、一部では1日数万人まで増加すると懸念されていましたが、今のところ予測を超える増加には至っていません。感染の9割がオミクロン株とされ、バンコクでも増加傾向にあることから、引き続き注意が必要なものの、タイ政府は感染者数が早期に減少に転じると予測するほか、重症化リスクも低いとして、一部地域の店内飲酒規制を23時まで緩和しました。また12月に停止した外国人観光客の隔離免除入国制度を全ての国・地域を対象に2月より再開を予定するなど、まん延防止と経済の両立を図っていく方針を打ち出しています。

2. 当地ビジネス情報

(①日本人の感染者動向)

バンコク中心部の日本人居住エリアにあり、バンコク駐在員やメディカルツーリズム先として外国人が治療に訪れるサミティヴェート病院（スクムビット院）は、日本人の新型コロナウイルス感染者が急増していると発表しました。タイ全土における感染者のピークは8月中旬の1日約23,000人で、うち、当病院で陽性が確認された日本人は138人でしたが、現在ではタイ全土における感染者数はピーク時の3割程度まで減少している一方で、日本人感染者は409人に増加しています。小生のまわりでも知人やアパートの住人などの身近なところでの感染者が増えているため、外出はもちろん、日本人同士の面談や会食に慎重になっているところです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年1月 (26日間)
日本人陽性者(人)	119	14	58	140	138	47	15	17	14	409

出所：サミティヴェート病院 HP

(②2022年の有望産業と人口)

タイ商務省は先ごろ、2022年の有望産業10業種を発表しました。第1位は電子商取引（EC）で、新型コロナの流行に伴うオンライン購入意向が今年も続く見通しとしています。EC利用の増加から2位は物流・宅配産業となり、3位は医薬品の需要や健康志向の高まりでハーブ製品等の需要が増加するとし、上位10業種で1兆3,200億バーツ（約4兆5,450億円）の市場規模になると予想しています。

また、タイ政府は昨年末のタイの総人口約6,617万人のうちタイ人は約6,520万人（男性：約3,183万人・女性：約3,337万人）、外国人は約97万人（全体の約1.5%）と発表しました。うち、首都バンコクは約553万人の人口となっており、総人口の約8.3%を占めています。タイはその多様性から多くの外国人が暮らす印象を持ちますが、数字で確認すると日本における外国人割合（約2%）の方が多くことに気づきます。

順位	2022年の有望産業
1位	電子商取引(EC)
2位	物流・宅配業者
3位	医薬品・ハーブ製品等
4位	コンピュータープログラミング等
5位	リサイクル産業
6位	化粧品
7位	ペット関連産業
8位	高齢者向け事業
9位	紙容器・包装資材
10位	オンライン広告

3. 現地トピックス（ゴルフ天国？）

タイでは、ゴルフを年間通して楽しむことができます。世界屈指の名門コースや充実したサービス、人気リゾート地周辺にあるなど、タイ在住者をはじめ、コロナ禍前は多くのツアー客が楽しんでいた人気のスポーツです。一方で、在タイ日本国大使館からゴルフ場でのクレジットカード盗難等に対する注意喚起があり、コース予約代行サイトが実施したアンケートでは、回答者の約1割が何らかの被害を受けたとの結果が出ています。日本とは違う雰囲気やコースの解放感はずいぶん体験していただきたいものの、トラブルにはご注意ください。



見晴らしの良いゴルフコース

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）